

海軍公報

(部内限) 第二千八百六十七號

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十三日(水)

令 達

本件取消

官房第一四二一號

滿洲國海軍學生ヲ左記ニ依リ各海軍學校ニ於テ修業セ

シム

昭和十三年三月二十三日

海軍大臣

記

一、修業ノ學生、學校及期間

滿洲國海軍少尉 河 正 卓

自昭和十三年四月二十日

至同 十四年三月三十一日

海軍砲術學校
海軍水雷學校
海軍通信學校
海軍航海學校

約五月
約二月半
約二月半
約二月半

二、修業ノ學生、學校及期間

滿洲國海軍機關少尉 福 金

同 鹿 琦

自昭和十三年四月二十日

海軍工機學校

至同 十四年三月三十一日

通 牒

海人機密第一號ノ七八

昭和十三年三月二十三日

海軍省人事局長

關係各所屬長官 殿

士官ノ臨時考課表ニ關スル件申進

左記ニ依リ現役士官ノ臨時考課表ヲ調製進達相成度

追テ右考課表ハ身體欄ノ記入ヲ要シ且被考課官ト接

スル期間二月ニ滿タザル場合ト雖モ調製進達スル義

ニ付爲念

記

一、被考課官ノ範圍

(一) 昭和十年十一月十五日以前各科中尉ニ進級セシ
兵科、機關科及主計科中尉

(二) 昭和十一年四月十日以前各科中尉ニ進級又ハ任
用セラレタル軍醫科及藥劑科中尉

海軍公報(部内限) 第二千八百六十七號

昭和十三年三月二十三日

二九九

(三) 昭和十年四月十五日以前各科中尉ニ任用セラレタル造船科、造機科及造兵科中尉

二、調製及進達期日

(一) 調製期日 四月十日
(二) 進達期日 四月二十日
海軍大臣ニ進達期日

○ 辭令

通信書記 片平 金造

佐世保鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス(前海軍省)

海軍技術會議議員海軍中佐 島井 善次郎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(同)

海軍中佐 上田 光治

第二課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

軍令部出仕海軍大尉 石塚 寛三

第四部第十一課勤務ヲ命ス(海軍省)

海軍大尉 石塚 寛三

通信部第十一課勤務ヲ命ス(海軍省)

軍令部出仕兼部員海軍少佐 野間 徹

第二部第四課勤務ヲ命ス(海軍省)

海軍少佐 野間 徹

參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス(海軍省)

○ 雜款

○將旗移揚

第一根據地隊司令官ハ三月十六日將旗ヲ一時朝日ヨリ千鳥ニ移揚セリ

○試驗問題發送

一、第八十八期、第八十九期高等科砲術、第五期高等

科測的術練習生(試驗期日五月三十日)

一、第八十一期普通科砲術、第十三期普通科測的術、

第六十九期普通科水雷術魚雷、第十期普通科水雷術

航空魚雷、第九期普通科水雷術機雷、第十一期普通

科運用術練習生(試驗期日六月七日)

右採用試驗問題本月十二日左記ノ通發送済未着ニシテ

所要ノ向ハ海軍砲術學校ヘ照會若ハ最寄海軍人事部ヨ

リ受領相成度

記

一、聯合試驗ニ必要部數ハ各海軍人事部及各要港部

一、聯合試驗不可能ト認ムル向ハ直接

一、行動豫定變更等ノ爲所要ノ分トシテ若干部數各海

軍人事部長宛送付ス

(海軍砲術學校)
(海軍水雷學校)
(海軍航空學校)

○ 艦船所在

△印 △ハ △ホ △セ △ズ
指定ヲ要セズ

○三月二十三日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、五十鈴、高雄、▽長門△、多摩

澤風

呂六六△、伊七七

掃二△

富士△、尻矢△、膠州△

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

△大刀風、帆風、夕風、▽松風、春風、旗風、沖風、▽夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、▽呂五八、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五

【石川島】

羽風△

神威△、掃一△、掃三△、掃四△

【浦賀】

秋風△

(霞)△

【大湊】

大泊

【函館】

▽神風、沼風、波風△、野風△

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、扶桑、淀、加古、最上、天龍△、▽大井

夕顔、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、

磯波、敷波、綾波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、▽伊五三、伊五四、▽伊五六、伊五七、伊五八、

▽雄、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

常磐△

石廊

朝風△

平戸、淺間

吾妻△、八重山

吹雪△、皐月

伊五二

(蔽)△

赤城△、榛名、羽黑、那智、北上、駒橋、

▽名取、由良、▽川内、▽迅鯨

梨△、竹△、樞△、桃△、柳△、檜△、薑△、▽夕風、

朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、

朝潮、滿潮、荒潮、▽文月、長月、水無月、

海軍公報(部内限) 第二千八百六十七號

昭和十三年三月二十三日

峯風、戸夕立、五月雨、村雨、春雨、戸白露、時雨、有明、夕暮、戸江風、山風、海風、涼風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、

戸呂六八、戸呂六三、戸伊六五、伊六六、

伊六七、戸伊一、伊二、伊三、戸伊六、

伊四、伊五

敷島、野島、襟裳、鶴見

(伊七四)

【長崎】(利根) (筑摩)

【寺島水道】戸鳥海、摩耶、戸熊野、三隈、鈴谷、戸神通、

戸阿武隈

戸朧、曙、潮、戸天霧、朝霧、夕霧、戸白雲、

薄雲、霞雲、東雲、戸陸月、卯月

戸伊六三、伊五九、伊六〇、戸伊六一、

伊六二、伊六四、戸伊七〇、伊六八、

伊六九

問宮

【羅津】戸八雲、磐手

【作業地】戸出雲、戸龍田、戸安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、戸木曾、

白鷹、戸足柄、沖島、嚴島、戸球磨、戸妙高、

戸長良、戸能登呂、勝力、戸加賀、龍磯、

戸蒼龍、春日

栗、梅、蓮、戸雷、響、電、戸曉、狹霧、
漣、戸薄、藤、葛、戸芙蓉、朝顔、刈萱、
戸菊月、夕月、望月、三日月、戸蓼、菱、蓬、
戸島風、灘風、沙風、如月、彌生、矢風、
戸疾風、追風、戸葦、榆、柿
戸伊二一、伊二二、伊五五
戸千鳥、初雁、友鶴、真鶴、戸鶴、鴨、鴻、
準
戸掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
戸朝日、室戸、早靱、洲崎、鳴戸、知床

【航海中】

戸若竹 (二十一日吳發—横須賀)

初雪 (二十二日吳發—舞鶴)

戸呂三四、呂三三、戸伊七二、伊七三 (二十二日吳發—廣島灣)

戸陸奥、伊勢、日向、戸霧島、金剛、戸那珂、鬼怒

(二十三日寺島水道發—佐世保)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百六十八號

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十四日(木)

○令 達

官房機密第一五二二號

昭和十二年官房機密第三三五四號ノ二ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年三月二十三日

海軍大臣

(内令提要卷三、八一八ノ四参照)

官房第一〇〇四號ノ六

吳海軍工廠ニ於テ購買ノ標的船四隻ヲ雜役船ニ編入シ
其ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年三月二十四日

海軍大臣

標的船 (發動機付)	公稱番號	所屬	定數別	記事
第三五五號	吳海軍工廠		臨時附屬	
第三五六號			同	
第三五七號			同	

内令提
要登載

○通 牒

經物第一〇〇號

昭和十三年三月二十三日

海軍省 經理局長
海軍艦政 本部長
海軍航空 本部長

關係各廳長 殿
監督長

部外註文ノ造船造兵工事ニ使用スル材
料ノ件通牒

部外註文ノ造船造兵工事製造ニ要スル構成材料物品中
購買名簿ニ登錄シアルモノハ原則トシテ該名簿登錄者
ノ製品ヲ使用セシメラルル儀ニ有之候モ特別ノ事情ノ

標的船 (發動機付)	公稱番號	所屬	定數別	記事
第三五五號	吳海軍工廠		臨時附屬	
第三五六號			同	

海軍公報(部内限) 第二千八百六十八號 昭和十三年三月二十四日

三〇三

海軍公報(部内限) 第二千八百六十八號 昭和十三年三月二十四日

三〇四

タメ右ニ依リ難キ場合ハ左記ノ外上申認許ヲ要スル儀
ト御承知相成度

追テ契約書中ニハ從來通此ノ旨明記相成度

記

一、購買名簿登録者ニシテ自家製品ヲ使用スル場合ハ
艦政本部長又ハ航空本部長ノ承認ヲ受クルモノトス
(大正十年九月二十日經物第二七七號ハ自
然消滅)

○ 辭 令

海軍大佐 山田 定義

海軍軍事普及部委員ヲ命ス
思想調査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○郵便物發送先

伊號第七潜水艦宛

自 今

第一艦隊司令部ニ同ジ

第一水雷隊主計長宛

自 今

鴻

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月二十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、大鯨、夕張、風翔、山城、五十鈴、高雄、長門、多摩

澤風、伊若竹

呂六六、伊七七

掃二

富士、尻矢、膠州

(飛龍)、(劍埼)、(高崎)

【長浦】

太刀風、夕風、松風、春風、旗風、沖風、夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、伊二三、伊二四

掃六、掃五

【石川島】

羽風

【横濱】

神威

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

秋風

(霞)

【大湊】

大泊

【函館】

神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨、扶桑、淀、加古、最上、天龍、大井

夕顔、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波

磯波、敷波、綾波

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂三四、呂三三、伊五一、伊七一、伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三

雄、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歳)、(千代田)

古鷹

(峯雲)

呂六四

(朝雲)、(伊八)、(伊七五)

常磐

石廊

朝風

平戸、淺間

因ノ島

朝風

江田内

平戸、淺間

德山

吾妻、八重山

白雲、吹雪、初雪、皐月

伊五二

(敷)

赤城、榛名、羽黑、那智、北上、駒橋

名取、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛

那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、足柄

梨、竹、樞、桃、柳、檜、董、夕風

海軍公報(部内限)第 二 千 八 百 六 十 八 號 昭和十三年三月二十四日

朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、▽文月、長月、水無月、
峯風、▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、
時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、
涼風

呂三〇△、呂三一△、呂三二△、呂六〇△、
呂六一△、呂六二△、呂六七、呂六五、
呂六八、呂六三、▽伊六五、伊六六、
伊六七、▽伊一、伊二△、伊三、▽伊六、
伊四、伊五
敷島△、野島、襟裳、鶴見
(伊七四)△

【長崎】(利根)△、(筑摩)△
【寺島水道】▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、
▽阿武隈

▽龍、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、
薄雲、叢雲、東雲、▽睦月、卯月
▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、
伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、
伊六九
間宮、鳴戸

【羅津】▽八雲、磐手
【作業地】▽出雲、▽龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、
白鷹、▽沖島、嚴島、▽球磨、▽妙高、

【航海中】

帆風 (二十四日長浦發一下山)

▽長良、▽能登呂、勝力、▽加賀、龍巖、
▽蒼龍、春日
栗、梅、逆、▽雷、響、電、▽曉、狹霧、
澁、▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、
▽菊月、夕月、望月、三月月、▽蓼、菱、蓬、
▽島風、灘風、汐風、如月、彌生、矢風、
▽疾風、追風、▽葦、榆、柿
▽伊三、伊二、伊五五
▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鶴、鴨、鴻、
隼
▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

朝日、室戸、早瀬、洲崎、知床

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百六十九號

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十五日(金)

○令 達

官房機密第一五三四號
 徵備船舶ノ復舊工事ニ關シ左ノ通取計フベシ
 今次事變ニ於テ徵備セラレタル船舶解備ノ際ハ速ニ工
 事復舊ヲ行フモノトシ之ガ費目ハ臨時軍事費 海軍臨
 時軍事費 造船造兵及修理費 別途配付豫算内支辨ト
 ス

昭和十三年三月二十五日

海軍大臣

○通 牒

軍需需第七一號

昭和十三年三月二十四日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
舞鶴要港部軍需部長 殿

艦營需品貸與品發聲映寫機貸與ニ關
 スル件通牒

當分ノ間首題物品貸與範圍ヲ軍港要港所在艦船、部隊
 其ノ他任務上特ニ要スル出動艦船ニ限定致候條右主旨
 ニ依リ貸與方可然取計相成度

○辭 令

(各通) 中央氣象臺技手 花澤 正男
 堀 清一

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(海軍省)
 海軍中佐 上田 光治

海軍武功調査委員ヲ命ス

昭和六年乃至九年事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス
 海軍少佐 内田 成志

海軍軍事普及部委員ヲ命ス
 同 岸本 完一

海軍航空豫備學生採用試驗委員ヲ命ス

(各通)

氣象臺技手 比嘉 政雄

同 門脇 閔郎

同 佐藤 善治

氣象臺雇員 海老原 祐治

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上同)

第三課勤務ヲ命ス(水部)

海軍技師 棚橋 弟丸

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第四艦隊司令長官ハ三月二十二日旗艦ヲ足柄ヨリ一時沖島ニ變更セリ

○ 正誤

三月十七日號外海軍購買名簿改正中一〇頁二行目二二治療品第九項中「株式會社山越工作所」ハ「株式會社山越製作所」ノ誤

三月二十三日令達欄官房第一四二一號ヲ取消ス

○ 艦船所在

▲印ハニハホフ
指定ヲ要セズ

○三月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄、▽長門▲、多摩、澤風、▽若竹、▽雷

呂六六▲、伊七▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

▽太刀風、夕風、▽松風、春風、旗風、沖風、▽夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】

神威▲

【浦賀】

秋風▲

【大湊】

大泊

【函館】

▽神風、沼風、波風、野風、矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、加古、最上、天龍▲、▽大井、夕顔、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、

磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊五六、伊五七、伊五八

▽雉、鷺、鳩、雁

攝津、隠戸

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(峯雲)▲、呂六四▲、(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

【因ノ島】

石廊▲

【江田内】

朝風▲、平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲、八重山、▽白雪▲、吹雪▲、初雪、皐月、伊五二

【佐世保】

(敷)▲、赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、駒橋、▽名城、▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、足柄

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風、朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽文月、水無月、峯風、

海軍公報(部内限) 第二千八百六十九號

昭和十三年三月二十五日

三〇九

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲
 【寺島水道】□鳥海、摩耶、▷熊野、三隈、鈴谷、▷神通、
 ▷阿武隈
 □朧、曙、潮、□天霧、朝霧、夕霧、□白雲、
 薄雲、叢雲、東雲、□陸月、卯月
 □伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、
 伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、
 伊六九
 問宮、鳴戸

【羅津】▷八雲、磐手
 【作業地】□出雲、▷龍田、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、▷木曾、
 白鷹、□沖島、嚴島、▷球磨、□妙高、
 ▷長良、▷能登呂、勝力、▷加賀、龍驤、
 ▷蒼龍、春日
 栗、梅、蓮、響、電、□曉、狹霧、漣、

□薄、藤、葛、□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、
 夕月、望月、三日月、□蓼、菱、蓬、□島風、
 灘風、沙風、如月、彌生、矢風、□疾風、
 追風、□葦、楡、柿、長月、帆風
 □伊二一、伊二二、伊五五
 ▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□鶴、鴨、鴻、
 隼
 □掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、室戸、早鞆、洲崎、知床、野島、襟裳

【航海中】
 □呂三四、呂三三、□伊七二、伊七三 (二十四日吳
 發—廣島灣へ)
 佐多 (十四日徳山發—佐世保へ)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百七十號

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十六日(土)

○令 達

官房第一四七八號

昭和六年官房第三三五六號中左ノ通改正ス

昭和十三年三月二十六日

海軍大臣

第二號中艦營需品及燃料ノ範圍ノ欄「航空機完成後庫納又ハ改造修理等ノ爲ノ空中輸送(往返共)」(昭和十一年官房第一七七〇號)ノ次ニ左記ヲ加フ

航空機ノ供給、還納又ハ保管轉換等ノ爲ノ空中輸送(昭和十三年官房第一四七八號)

(參照) 昭和六年官房第三三五六號ハ艦營需品、燃料及治療品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱ノ件ナリ(會計法規類集下卷一五七頁)

官房第一四七九號

海軍軍需部又ハ舞鶴要港部軍需部兵備品會計官吏ハ別ニ規定アルモノノ外航空機ノ供給、還納又ハ保管轉換

海軍公報(部内限) 第二千八百七十號

昭和十三年三月二十六日

三一

等ノ爲ノ空中輸送ニ要スル艦營需品及燃料ヲ海軍軍需部又ハ舞鶴要港部軍需部通常物品會計官吏ニ繰替供給スルコトヲ得

昭和十三年三月二十六日

海軍大臣

○通 牒

經豫第七號ノ五八

昭和十三年三月二十五日

海軍省經理局長

各關係廳長
各契約擔任官 殿

輸入證明ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シテハ昨年九月十七日經豫第三號ノ二九五ニ依リ處理ノコトニ相成居候處輸入證明書ト申請書トノ突合困難ニシテ爲ニ爲替許可促進上遺憾ノ點渺カラザル事實ニ鑑ミ爾今輸入爲替申請者ヨリ大藏省ニ提

出スベキ申請書ハ輸入證明書ト共ニ當局ヨリ直接大藏省ニ送付スルコトニ協定致候條來四月六日以降ハ契約擔任官ニ於テ輸入證明書ニ輸入爲替申請書ヲ添付主務部局(艦政本部、航空本部、軍需局等)ヲ經由シ當局ニ送付ノコトニ御取計相成度

經豫第三號ノ三九

昭和十三年三月二十五日

海軍省經理局長

各支出官殿

日本銀行代理店設置ノ件通知

首題ノ件ニ關シ大藏省理財局長ヨリ別紙ノ通牒牒有之候

(別紙)

藏理第四三五號

昭和十三年三月二十二日

大藏省理財局長 關原 忠三

海軍省經理局長 村上春一殿

國庫金並政府有價證券ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ今般中華民國濟南ニ設置シ昭和十三年四月一日ヨリ同地方ニ關係ヲ有スル官廳ノ國庫事務ノミニ限リ取扱ハシム

ルコトト相成候ニ付比段及御通牒候也
追而本件ハ官報ニ告示ノ手續ヲ探ラザルニ付御含置相成度

艦本機密第五五八九號

昭和十三年三月二十五日

海軍艦政本部長

橫須賀

海軍工廠長殿

吳 佐世保

九二式電波鑑査機及九二式短電波鑑査機

ヲ改一型ニ改造ノ件通牒

首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、工事要領

第二項記載ノ首題兵器ヲ添付改造要領書及圖面ニ依リ改造スルモノトス

但シ水晶發振子周波數曲線用紙及同袋ハ各廠ヨリ海軍技術研究所ヘ注文製作スルモノトス

尙銘銀ハ改造後「九二式電波鑑査機改一」「九二式短電波鑑査機改一」ト記入セルモノニ變更ノコト

二、所要兵器		別費目	計	記	事
施行廠	九二式電波鑑査機	元式短電波鑑査機	計		
横廠	五三	五四	一〇七	横軍需部關係ノ	
吳廠	二七	二九	五六	吳軍需部關係ノ	
吳廠	二	二	四	舞鶴軍需部關係ノ	
佐廠	四六	四七	九三	佐軍需部關係ノ	
計	一二八	一三二	二六〇		
横廠	一四	一八	三二	横軍需部關係ノ	
吳廠	一〇	一〇	二〇	吳軍需部關係ノ	
吳廠	一	一	二	舞鶴軍需部關係ノ	
佐廠	一四	一七	三一	佐軍需部關係ノ	
計	三九	四六	八五		

詳細内譯別表ノ通

三、時期
昭和十四年三月三十一日迄時機ヲ得次第可成速ニ完了スルモノトス

四、費目
軍事費 造船造兵及修理費 造兵費 修理(線)(空線)
別途配付豫算内支辨トス

海軍公報(部内限) 第二千八百七十號

昭和十三年三月二十六日

三二三

別表ノ一別表ノ二 各一通
九二式電波短電波鑑査機ノ改造要領書 一部添付
企 右ノ改造圖面 三枚
本件寫送付先(別表各一通共)
横須賀、吳、佐世保、各軍需部長、舞鶴要港部軍需部長
(添附物略)

○ 辭令

海軍技術會議員海軍軍醫中佐 木津 盈之助
海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス(三月廿五日海軍省)
軍令部課長海軍大佐 山田 定義
第三部第七課長ヲ命ス
軍令部部員海軍中佐 泊 滿義
第一部第二課勤務ヲ命ス(以上軍令部)
海軍大佐 山田 定義
參謀部第三部第七課長ヲ命ス
海軍中佐 泊 滿義
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス(以上參謀部)
大本營海軍部

○ 雜 款

○郵便物發送先

第十一水雷隊宛

三月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ

四月一日迄ニ同

其ノ後ハ

吳 大分縣佐伯

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月二十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、風翔▲
山城、五十鈴、高雄、長門▲
澤風、若竹、雷

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

大刀風、夕風、松風、春風、旗風、沖風、
夏雲、山雲、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、伊二三、伊二四

掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】

神威▲

【浦賀】

秋風▲

【函館】

神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、
淀、加古、最上、天龍▲、大井、
夕顔、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、
磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲
呂二八、呂三四、呂三三、伊五一▲
伊七一▲、伊五三、伊五四、伊五六、
伊五七、伊五八、伊七二、伊七三

雉、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歲)▲、(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

平戸、淺間

吾妻▲、八重山

伊白雪▲、吹雪▲、初雪、皐月

伊五二

(敷)▲

赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、駒橋、

名取、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、

那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、足柄

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、夕風、

朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、

朝潮、滿潮、荒潮、文月、水無月、峯風、

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、
 有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、呂六六七、呂六五、
 呂六八、呂六三、伊六五、伊六六、
 伊六七、伊一、伊二▲、伊三、伊六、
 伊四、伊五、
 敷島▲、鶴見、佐多、
 (伊七四)▲

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲

【寺島水道】鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、
 阿武隈

薄雲、霧、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、
 伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、
 伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
 伊六九、
 間宮、鳴戸

【作業地】出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、
 白鷹、沖島、球磨、妙高、長良、
 能登呂、勝力、加賀、龍巖、蒼龍、
 春日、嚴島、
 栗、梅、蓮、櫻、電、曉、狹霧、漣、
 薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、

【航海中】

夕月、望月、三日月、蓼、菱、蓬、島風、
 灘風、汐風、如月、彌生、矢風、疾風、
 追風、葦、楡、柿、長月、
 伊二一、伊二二、伊五五、伊七、
 千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻、
 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八

朝日、室戸、早瀬、洲崎、知床、野島、襟裳

八雲、磐手(二十五日羅津發—大湊—)
 大泊(二十五日大湊發)
 多摩(十六日横須賀發—横濱—)

海軍公報

(部内限) 第二千八百七十一號

昭和十三年三月二十八日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第一四九六號

昭和十三年三月二十八日

海軍次官

横須賀鎮守府司令長官殿

内南洋方面海軍集會所ノ件申進

左記ニ依リ内南洋方面行動艦船乗員ノ爲海軍集會所ヲ設置シ得ルコトニ定メラレ候

記

一、内南洋方面行動艦船乗員ノ會議竝ニ陸上ニ於ケル保健休養ノ目的ニ供スル爲サイパン、バヲオニ海軍集會所ヲ置ク

二、本海軍集會所ハ横須賀鎮守府ノ所管トス

三、本海軍集會所ハ下士官兵集會所ノ如ク修養慰安娯樂等ヲ目的トスル乗員ノ團體ニ無償使用セシムルヲ例トス

海軍諸例
則登載

○辭令

海軍大佐 松田 千秋

海軍武功調査委員ヲ命ス(海軍省)

海軍大佐 松田 千秋

第二課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

○雜款

○司令潜水艦變更

第二十四潜水隊司令ハ三月二十三日司令潜水艦ヲ呂號第六十八潜水艦ヨリ呂號第六十三潜水艦ニ變更セリ

○司令掃海艇變更

第一掃海隊司令ハ三月二十五日司令掃海艇ヲ第六號掃海艇ヨリ第五號掃海艇ニ變更、即日第六號掃海艇ニ復歸セリ

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦陸奥、日向、伊勢、第三戰隊司令部、軍艦霧島、金剛、第八戰隊

海軍公報(部内限) 第二千八百七十一號 昭和十三年三月二十八日

三一七

司令部、軍艦那珂、鬼怒、由良、第一水雷戦隊司令
 部、軍艦那珂、第九驅逐隊(自雲霧待命)者明、夕
 暮、第二十四驅逐隊(江風、涼風、山風、海風、
 第二驅逐隊)夕、五月、村雨、春雨、第一潜水
 戦隊司令部、軍艦迅鯨、第八潜水隊(伊六、伊五、
 伊四)、第七潜水隊(伊一、伊二、伊三)宛
 四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ、
 同、二十七日迄ニ 同
 五月十八日迄ニ 同 鹿兒島縣志布志
 其ノ後ハ、 高知縣宿毛
 左記ニ依リ陸上無線電信所及交書交換所ヲ設置スル
 期間電報(一)ノ指定ヲ要ス
 自四月二十三日 鹿兒島縣志布志
 至同月三十一日
 自五月一日 高知縣宿毛
 至同月十九日

特務艦隊日宛
 四月 廿二日迄ニ到達見込ノモノハ、 吳
 同、五日迄ニ 同 徳山
 同、十日迄ニ 同 横須賀
 五月 九日迄ニ 同 横濱郵便局氣付
 其ノ後ハ、 吳
 敷設艇那沙美宛
 自今 佐世保郵便局氣付

○書類發送後、刻刻合符、軍艦那珂、命、陸上艦隊、
 當隊係、關係上各艦分、隨行動、付郵便物、佐世保
 郵便局、刻刻自今左記ニ依リ御送付ヲ得度
 追テ左記宛ノ書類ニシテ各艦ニ關係アルモノハ、寫一
 封、通各艦別ニ送付相成度、自今、自今、自今、自今、
 司令、軍艦那珂、自今、自今、自今、自今、
 機長、自今、自今、自今、自今、
 主計長、自今、自今、自今、自今、
 (第六驅逐隊)

海軍大臣官房
 昭和十三年三月二十八日(日)

○艦船所在

△印△ハホフ
指定ヲ要セズ

○三月二十八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、風翔▲、山城、五十鈴、高雄、長門▲、嚴島、神威、澤風、呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

大刀風、夕風、松風、春風、旗風、沖風、夏雲、山雲、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲、呂五八、伊二三、伊二四

呂掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】

多摩▲

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【大湊】

八雲、磐手

【函館】

神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、加古、最上、天龍▲、大井、夕顔、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、

（昭和十三年三月二十八日）

磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、伊五五

呂雉、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歲)▲、(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

因ノ島

江田内

舞鶴

善妻▲、八重山

伊五二

(霞)▲

赤城▲、榛名、羽黒、那智、北上、駒橋、

名取、由良、足柄

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、夕風、

朔風、湛葉、初霜、子日、初春、大潮、

海軍公報(部内限) 第二千八百七十一號 昭和十三年三月二十八日

朝潮、滿潮、荒潮、峯風、夕暮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲

伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島、鶴見、佐多、知床

(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲

【寺島水道】陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂

鬼怒、三川内、迅鯨、鳥海、摩耶

熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨

有明、江風、山風、海風、涼風、龍

曙、湖、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲

叢雲、東雲、陸月、卯月

伊一、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、

伊六九

間宮、鳴戸

【鎮海】葦、楡、柿

【作業地】出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾

白鷹、沖島、球磨、妙高、長良

能登、勝力、加賀、龍驥、蒼龍

春日

栗、梅、蓮、櫻、電、曉、狹霧、漣、

薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、

夕月、望月、三日月、蓼、蓬、島風、

灘風、沙風、如月、彌生、疾風、追風、

長月、若竹

伊二一、伊二二

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴、鴨、鴻、

雉

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

朝日、室戸、早瀬、洲崎、野島、襟裳

【航海中】

大泊(二十五日大湊發)

文月、水無月(二十七日佐世保發—西南諸島)

呂六八、呂六三(二十七日佐世保發—鎮海)

(附錄十八頁及三月二十六日辭令公報添)

(限 内 部)

1759

海軍公報(部内限)附録

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十八日(月)

昭和十三年一月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期左ノ通

(當分ノ問恩給年叙勳年加算調書ニ記入セザルコト)

(海軍省軍務局)

天 龍	足 柄		妙 高		艦 船 名	加 算 始 終 期 (左)右	著 發 地 名	行 先	任 務	加 算 率 (二付)	恩 給 叙 勳	記 事
	一三	一三	一三	一三								
一九	八裏長山列島	一旅順	二八	二六	一五	一五	馬公	南支方面	外國鎮戍	一月半	同上	
公			同	隆	高	高	雄	同	外國鎮戍	一月半	同上	

海軍公報(部内限)附録

長 良	木 曾	球 磨		多 摩		龍 田		
一三	一三		一三		一三		一三	
一	一	一	一	一	一	一	一	一
二八	六裏長山列島	三〇	八同	五旅	一三	八	二七	二五
高 雄	山列島	旅 順	同	順	高 雄	馬 公	同	六同
		同	北支方面	南支方面		南支方面	中支方面	南支方面
		同	同	外國鎮戍		同	外國鎮戍	外國鎮戍
		一月半	一月半	一月半		一月半	一月半	一月半
		同上	同上	同上		同上	同上	同上

海軍公報(部内限) 附録

神威		能登呂				龍驤	加賀		
一三	一三				一三	一三	一三		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	
六	四	三	二	一	一	七	二	三	
同	高	同	佐	七	旅	七	高	同	
	雄		世	裏	順	裏	雄		
		南	同	北		北	南	南	
南		支		支		支	支	支	
方面		方面		方面		方面	方面	方面	
		同	同	外國		同	外國	外國	
外國		同	同	鎮		同	鎮	鎮	
鎮		同	同	成		同	成	成	
成		同	同			同			
		一	一	一		一	一	一	
		月	月	月		月	月	月	
		半	半	半		半	半	半	
		同	同	同		同	同	同	
		上	上	上		上	上	上	

峯		沖		巖		駒	
風		島		島		橋	
	一三				一三		一三
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	四五	二九	二七八	六三	二五	一三八	八
佐世保	同旅順	同	同旅順	同長山列島	同旅順	同大連	佐世保
中支方面	同	同	同	北支方面	同	北支方面	中支方面
同	同	同	同	外國鎮戍	同	外國鎮戍	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

海軍公報 (部内限) 附録

電	雷		汐		灘		島	
一三		一三		一三		一三		一三
一	一	一	一	一	一	一	一	一
六裏長山列島	八同	五裏長山列島	二九同	二六馬公	二三同	一九馬公	二八同	一〇馬公
	中支方面		南支方面		南支方面		南支方面	同
	外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍	同
	一月半		一月半		一月半		一月半	一月半
	同上		同上		同上		同上	同上

五

文 月	曉	狹 霧	漣	響	
一三	一三	一三	一三	一三	
一一	一一	一一	一一	一一	一一
二二 三三 同	一九 同	六 八 長 山 列 島	二九 八 同	六 八 長 山 列 島	八 長 山 列 島
中支方面	中北支方面	中北支方面	中北支方面	中北支方面	南中北支方面
同	外國鎮戍	外國鎮戍	外國鎮戍	外國鎮戍	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上

1765

夕 月	望 月		三 日 月	菊 月		長 月		水 無 月
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一	一	一	一	一	一	一	一	一
二二	三〇	二七	二	三〇	二八	二七	二四	一七
高 雄	同	高 雄	高 雄	同	馬 公	高 雄	同	同
	南支方面		同	同	南支方面		同	同
	外國鎮戍		同	同	外國鎮戍		同	同
	一月半		一月半	一月半	一月半		一月半	一月半
	同上		同上	同上	同上		同上	同上

海軍公報(部内限)附録

七

1766

涼江山海	卯		彌如		陸		疾	追	
風風風風	月		生月		月		風	風	
一三		一三		一三		一三	一三	一三	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二五	一二	一四	七裏長山列島	二七	一二	三	三	二四
佐世保	佐世保	高	同	馬公	同	高	高	高	高
	南支方面		南支方面	北支方面	南支方面				南支方面
	外國鎮戍		同	同	外國鎮戍				外國鎮戍
	一月半		一月半	一月半	一月半				一月半
	同上		同上	同上	同上				同上

海軍公報(部内限)附録

八

芙蓉		朝顔		葛		藤		薄	
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二九	一六	一六	四	二四	三	三〇	四	七	一
同	馬公	同	馬公	旅順	旅順	旅順	旅順	旅順	旅順
南支方面		南支方面		北支方面		北支方面		北支方面	
外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍	
一月半		一月半		一月半		一月半		一月半	
同上		同上		同上		同上		同上	

海軍公報(部内限)附録

第十三號掃海艇		第一號掃海艇 第二號掃海艇 第三號掃海艇 第四號掃海艇 第五號掃海艇 第六號掃海艇		華	菱	蓬	刈
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一	一	一	一	一	一	一	一
七	二	二五	三一	一八	二五	一二	一三
裏山列島	旅順	佐世保	佐世保	裏山列島	同	裏山列島	同
北支方面				同	同	北支方面	南支方面
外國鎮戍				同	同	外國鎮戍	外國鎮戍
一月半				一月半	一月半	一月半	一月半
同上				同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

伊號第三潜水艦	第十八號掃海艇	第十七號掃海艇	第十六號掃海艇	第十五號掃海艇	第十四號掃海艇
一三	一三	一三	一三	一三	一三
一	一	一	一	一	一
二旅 四同 順	一五 同	六佐世保 四旅 順	七裏長山列島 四旅 順	七裏長山列島 一四旅 順	七裏長山列島 四同 順
同	同	同	北支方面	同	北支方面
同	同	同	外國鎮戍	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上

1770

野島		室戸		伊號第三潜水艦 第五		伊號第三潜水艦			
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一八	一四	八	二	三〇	五	三〇	八	三〇	二八
佐世保	同	裏長山列島	佐世保	同	同	旅順	裏長山列島	同	同
中支方面		北支方面		北支方面		同	同	同	北支方面
外國鎮戍		外國鎮戍		外國鎮戍		同	同	同	外國鎮戍
一月半		一月半		一月半		一月半	一月半	一月半	一月半
同上		同上		同上		同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

一三

海軍公報(部内限)附録

早 鞆		鳴 戸			鶴 見	佐 多	襟 裳	洲 崎	
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
二〇	一二	二五	一九	一七	一二	一〇	一六	二七	一七
佐世保	同	佐世保	同	旅順	同	佐世保	馬公	馬公	同
同	南支方面	同	北支方面		マニラ	ペルシヤ灣	南支方面	南支方面	北支方面
同	同	同	外國鎮戍		同	遠洋航海	同	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半		三分ノ月	三分ノ月	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上				同上	同上	同上

一三

1772

へるふはすと丸	萬光丸			廬山丸		生田丸		間宮		
一三			一三		一三		一三		一三	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一七 佐世保	八 裏長山列島	三〇 佐世保	二六 同	二四 旅順	一七 同	一一 佐世保	一四 基隆	二四 馬公	一八 基隆	一三 同
同	同	北支方面		南支方面		南支方面	中支方面	北支方面	中支方面	中支方面
同	同	外國鎮戍		外國鎮戍		同	同	同	同	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半		一月半		一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上		同上		同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限) 附録

一四

海軍公報 (部内限) 附録

香久丸	甲谷陀丸	長平丸	長壽山丸	富津丸	
一三	一三	一三	一三	一三	
一	一	一	一	一	一
一九	三〇	二二	六	二七	三〇
高雄	佐世保	基隆	同	濟州島	馬公
	中南支方面	南支方面	南支方面	北支方面	中南支方面
	外國鎮戍	外國鎮戍	外國鎮戍	同	同
	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
	同上	同上	同上	同上	同上
				(特設運送船)	

1774

朝日丸	廣徳丸	間宮丸	那智山丸	大興丸	神川丸	
一三	一三	一三	一三	一三	一三	
一	一	一	一	一	一	一
二佐世保	一七宇品 八裏長山列島	二佐世保	二二吳	一六佐世保	三〇濟州島 一九旅佐世保順	二八馬公 二四高雄
	北支方面		同	同	中支方面	南支方面
	外國鎮戍		同	同	同	外國鎮戍
	一月半		一月半	一月半	一月半	一月半
	同上		同上	同上	同上	同上
					(特設運送船)	

海軍公報 (部内限) 附録

一六

1775

海軍公報 (部内限) 附録

首里丸			衣笠丸			山東丸		
一	一	一	一	一	一	一	一	一
三二	二八	五	三一	二四	八	二〇	一六	三
同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	南支方面	同	南支方面	南支方面	北支方面	中支方面	北支方面	同
同	外國鎮戍	同	同	外國鎮戍	同	同	同	同
一月半	一月半	同	一月半	一月半	同	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
							(特設運送船)	

一七

1776

第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	友初真千 鶴雁鶴鳥	神 祥 丸
						一三	一三
						一	一
					二九	三〇	二五 濟州島
							北支方面
					(在役艦)	在役艦	外國鎮戍
						半月	一月半
							同上

海軍公報(部内限)附録

一八

1777

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千八百七十二號

海軍大臣官房

昭和十三年三月二十九日(火)

(本紙下引換ノ上舊紙ハ適宜焼却相成度)

○令 達

官房機密第一六一四號

昭和十二年十一月二十五日官房機密第四八三六號年末

賞與支給ニ關スル件中左ノ通訂正ス

昭和十三年三月二十八日

海軍大臣

賞與額ノ欄中

「一、五箇月分以内」	「一、五箇月分以内」
「二、五箇月分以内」	「二、五箇月分以内」
「三、五箇月分以内」	「三、五箇月分以内」
「四、五箇月分以内」	「四、五箇月分以内」
「五、五箇月分以内」	「五、五箇月分以内」

「四十五日分以内」ヲ「七十五日分以内」ニ改ム

官房第一五一八號

雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和十三年三月二十九日

海軍大臣

船種	公稱番號	舊所屬	新所屬	定數	記事
----	------	-----	-----	----	----

カッター (九米)	第八五〇號	馬公要港部	馬公防備隊	定數
傳馬船 (十米)	第三八三號	同	同	同

官房第一五一九號
左記ニ依リ陸上攻撃機機上電信員タルベキ者ヲ採用ス
昭和十三年三月二十九日
海軍大臣

修業課目	陸上攻撃機機上電信員トシテ必要ナル機上作業主トシテ電信及機銃關係事項												
教育場所	木更津海軍航空隊												
採用員數	<table border="1"> <tr> <th>所管鎮守府</th> <th>員數</th> </tr> <tr> <td>第八回</td> <td>五</td> </tr> <tr> <td>第九回</td> <td>四</td> </tr> <tr> <td>第十回</td> <td>五</td> </tr> <tr> <td>第十一回</td> <td>四</td> </tr> <tr> <td>第十二回</td> <td>四</td> </tr> </table>	所管鎮守府	員數	第八回	五	第九回	四	第十回	五	第十一回	四	第十二回	四
所管鎮守府	員數												
第八回	五												
第九回	四												
第十回	五												
第十一回	四												
第十二回	四												

海軍公報(部内限) 第二千八百七十二號 昭和十三年三月二十九日

三三二

採用資格	海軍一等水兵以下ノ普通科掌電信兵ニシテ採用試験ニ合格シタル者			
	第八回	第九回	第十回	第十一回
採用時期 (入隊時期)	昭和十三年四月十六日	同 六月一日	同 七月六日	同 九月一日
修業期間	二、五箇月		内 基礎教育 一箇月 特別訓練 一、五箇月	

備考

一、左記ニ依リ採用試験ヲ實施ス

(イ) 昭和十年官房第三一一號ニ準ズ但シ羅馬字文ノ試験ヲ行ハズ試験問題ノ複製、採點等ハ各鎮守府司令長官ノ定ムル所ニ依ル

(ロ) 海軍練習航空偵察練習生採用試験ニ準ズル身體検査

(ハ) 本試験ノ實施並ニ其ノ細目ニ關シテハ各鎮守府司令長官ノ定ムル所ニ依ル

二、本教育ヲ終了シタル者ハ掌航空兵トシ航空兵ニ轉科セシムルモノトス

○通牒

軍務二機密第一二四〇號
昭和十三年三月二十九日
海軍省軍務局長

各鎮守府
各要港部
各艦隊
參謀長殿

圖書現有調ノ件申進

首題ノ件別紙寫ノ通照會有之候ニ付同寫記載圖書ノ保管應ラシテ海軍機密書類取扱規則第三十七條ニ準ジ其ノ現有調書ヲ來五月末日迄ニ當局宛通牒セシメラル様取計相成度

(別紙)

企畫院發第一二〇號
昭和十三年三月十五日
企畫院次長 青木一男

海軍次官 山本五十六殿
機密文書保管狀況調査ノ件

昭和十二年九月資源局ヨリ配付ノ左記書類ノ保管狀況御調査ノ上異狀ノ有無至急御通知相煩度此段及御照會候

追テ最近某船舶保管中ノ氣象報道ニ關スル暗號書類

紛失セシ事例モ有之候條關係者ヲシテ之ガ保管取扱ニ關シ一段ノ注意ヲ拂ハシメラルル様御配慮ヲ得度
記

文書名	文書番號	小番號
一、今次事變ニ應ズル總動員警備計畫中氣象報道ニ關スル關係各應申合セ事項	北支警甲〇〇〇三號	自 五九號 至 六〇號 自 一四六號 至 一四五號
一、氣象報道要領	北支警甲〇〇〇四號	自 五九號 至 六〇號 自 一四六號 至 一四五號

經豫第四號ノ一七

昭和十三年三月二十八日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與追給科目ニ關スル件通牒

本年官房機密第一六一四號ニ依ル年末賞與追給科目ニ關シテハ昭和十二年經豫第三號ノ三二四ヲ適用スル義ト御承知相成度

經豫第四號ノ一八

昭和十三年三月二十八日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與支給額調ノ件通牒

本年官房機密第一六一四號ニ依ル年末賞與ノ追給額ニ對シテハ昭和十二年十一月二十五日經豫第三號ノ三二五ノ要領ニ依リ四月十五日迄ニ報告相成度

經給機密第一號

昭和十三年三月二十八日

海軍省經理局長

各支出官殿

各資金前渡官吏殿

年末賞與追給ニ關スル件通牒

今般官房機密第一六一四號ヲ以テ昭和十二年官房機密第四八三六號中訂正セラレ年末賞與ノ追給ヲ要スルコト相成候ニ付テハ之ガ支給方左記ノ通取扱相成度

記

一 本追給ハ昭和十三年三月三十一日現在ニ於ケル所屬應ニ於テ之ヲ行フ但シ費途ノ款ヲ異ニスルトキハ軍事費、滿洲事件費及臨時軍事費受辨各相互間ヲ除

クノ外年末賞與ヲ支給シタル應ニ於テ之ヲ行フモノトス

昭和十二年十二月一日現在員ニ就キ年末賞與ヲ支給シタル後所屬ヲ轉ジタル者ニ對シテハ其ノ支給應ハ本追給ニ必要ナル事項(支出科目共)ヲ速ニ現所屬應ニ通牒スルモノトス

二 昭和十二年十二月一日以後廢止ト爲リタル特設艦船部隊勤務ノ者ニ對シテハ當該特設艦船部隊ノ所屬(所屬ナキモノハ所管)鎮守府所在地ノ經理部ニ於テ本追給ニ必要ナル事項ヲ取調ベ現所屬ノ支出官又ハ資金前渡官吏ニ之ヲ通牒シ通牒ヲ受ケタル應ニ於テ追給スルモノトス

三 昭和十二年官房機密第四八三六號ニ依ル年末賞與ノ支給ヲ受ケタル後ニ於テ職ヲ離レタル者ニ對シテハ年末賞與ヲ支給シタル應ニ於テ本追給ニ必要ナル事項ヲ取調ベ士官及高等文官ニ在リテハ經理局、其ノ他ノ者ニ在リテハ所屬ノ經理部ニ之ヲ通牒シ通牒ヲ受ケタル應ニ於テ追給スルモノトス

四 昭和十二年官房機密第四八三六號ニ依ル年末賞與ノ支給ヲ受ケザリシ者ニハ本追給ヲ行フコトナシ年末賞與全額ノ支給ヲ受ケザリシ者ニハ其ノ支給ヲ受

ケタル金額ニ比例シテ計算シタル額ヲ追給ス
五 本追給ニ關シテハ自覺報告表ノ作成ハ之ヲ省略スルコトヲ得

○ 辭 令

元帥海軍大將 博 恭 王
海軍武功調査委員長ヲ命ス

- 海軍中將 及川 古志郎
- 同 山本 五十六
- 同 上田 宗重
- 同 氏家 長明
- 同 古賀 峯一
- 海軍少將 野村 直邦
- 同 降 幡 敏
- 同 新見 政一
- 同 岩村 清一
- 同 三川 軍一
- 海軍軍醫中將 高杉 新一郎
- 海軍主計中將 村上 春一
- 海軍造兵中將 谷村 豊太郎

(各通)

海軍大佐 中村 俊久
 同 妹尾 知之
 同 奥田 喜久司
 海軍機關中佐 秋重 實惠
 海軍軍醫大佐 大須賀 都美次
 海軍武功調査委員ヲ命ス
 海軍中將 山本 五十六
 海軍武功調査委員長ヲ免ス(以上三九〇海軍省)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第二十七驅逐隊司令ハ三月二十七日司令驅逐艦ヲ菱ヨリ一時遂ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第二艦隊司令部、軍艦鳥海、摩耶、第七戰隊司令部、軍艦熊野、三隈、鈴谷、第二水雷戰隊司令部、軍艦神通、第七驅逐隊(朧、曙、潮)、第八驅逐隊(天霧、夕霧、朝霧)、第十二驅逐隊(白雲、叢雲、東雲、薄雲)、第二航空戰隊司令部、軍艦蒼龍、第三十驅逐隊(睦月、卯月)宛
 四月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ、佐世保郵便局氣付

同 十九日迄ニ同 臺灣高雄郵便局氣付
 同 二十九日迄ニ同 鹿兒島縣志布志郵便局氣付
 五月十八日迄ニ同 高知縣宿毛郵便局氣付
 其ノ後ハ 各所屬軍港
 第二潜水戰隊司令部、軍艦阿武隈、第十二潜水隊(伊六八、伊六九、伊七〇)、第二十八潜水隊(伊五九、伊六〇、伊六三)、第二十九潜水隊(伊六一、伊六二、伊六四)宛
 四月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ、佐世保郵便局氣付

同 十九日迄ニ同 臺灣基隆郵便局氣付
 其ノ後ハ 第二艦隊司令部ニ同シ
 左記ニ依リ陸上無線電信所及文書交換所ヲ設置ス同
 期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ
 自四月十六日 臺灣高雄
 至同 十九日
 自四月二十四日 鹿兒島縣志布志
 至同 二十九日
 自五月 一日 高知縣宿毛
 至同 十八日

海軍公報(部内限) 第二千八百七十三號 昭和十三年三月二十九日

○艦船所在

▲印ハハホケ
指定ヲ要セズ

○三月二十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕眼▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄、▷長門▲、嚴島、神威、澤風、□雷

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】□太刀風、夕風、□松風、春風、旗風、沖風、

□夏雲、山雲、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、□呂五八、□伊二三、伊二四

□掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

多摩▲

【浦賀】

秋風▲

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、

淀、加古、最上、天龍、▷大井、夕顔、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、□浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、□呂三四、呂三三、伊五一▲、伊七一▲、□伊五三、伊五四、□伊五六、伊五七、伊五八、□伊七二、伊七三、伊五五

□雄、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】

呂六四▲ (朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【因ノ島】

朝風▲

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲、八重山

【佐世保】

□白雪▲、吹雪▲、初雪、皐月

(敷)▲ 赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、▷名取、由良、足柄▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、□夕風、朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、夕暮

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、□呂六七、呂六五。

海軍公報(部内限)第三千八百七十二號 昭和十三年三月二十九日

三二七

伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島、鶴見、佐多、知床、鳴戸

(伊七四)

【長崎】(利根) (筑摩)

寺島水道、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂

鬼怒、三川内、迅鯨、鳥海、摩耶

熊野、三隈、鈴谷、神通

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨

有明、江風、山風、海風、涼風、臘

曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲

雲、東雲、陸月、卯月

伊一、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八

伊六九

問宮

【高雄】襟裳

【鎮海】葦、楡、柿

呂六三、呂六八

【作業地】出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多

壁田、比良、保津、熱海、二見、木曾

白鷹、沖島、球磨、妙高、長良

能登呂、勝力、加賀、龍嶺、蒼龍

春日、阿武隈、駒橋

栗、梅、蓮、櫻、電、曉、狹霧、漣

薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月

夕月、望月、三月月、蓬、菱、島風

灘風、汐風、如月、彌生、疾風、追風

長月

伊二一、伊二二

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七

掃一八

朝日、室戸、早鞆、洲崎、野島

【航海中】

大泊 (二十五日大湊發)

文月、水無月 (二十七日佐世保發—西南諸島)

八雲、磐手 (二十八日大湊發—橫須賀)

神風、沼風、波風、野風 (二十八日函館發—津輕

海峽)

若竹 (二十八日橫須賀發—函館)

伊五二 (二十八日舞鶴發—港外)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百七十三號

海軍大臣官房

昭和十三年三月三十日(水)

○辭令

第三艦隊司令部ニ於ケル水先業務囑託

海軍豫備大尉 小島 正七

同 同 富永 與之

同 同 海軍豫備中尉 高山 仁

同 同 海軍豫備特務少尉 西村 英勝

同 同 開保津國太郎

自今報酬年額六千圓ヲ給ス(以上三回海軍省)

○感狀

感 狀

海軍一等航空兵曹 古賀 清登

昭和十二年九月十九日ヨリ十二月九日ニ至ル間第十三

航空隊戦闘機操縦員トシテ屢次ノ空襲ニ參加シ其ノ間

南京及南昌上空ニ於ケル前後五回ノ空中戦闘ニ於テ沈

着果敢常ニ衆敵ヲ制シ單機克ク敵戦闘機十一機敵重爆

撃機二機ヲ撃墜シタルハ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十二年十二月三十一日

支那方面艦隊司令長官 長谷川 清

○雜款

○將旗移揚

第二潜水戦隊司令官ハ三月二十七日將旗ヲ一時阿武隈
ヨリ伊號第六十三潜水艦ニ移揚セリ

○特設運送船神祥丸行動豫定

地名 着

吳 長 佐 吳 大 横 吳

地 世 保 世 須 須 須

名 名 名 名 名 名 名

四月 四月 四月 四月 四月 四月 四月

三 三 三 三 三 三 三

日 日 日 日 日 日 日

發

四月 四月 四月 四月 四月 四月 四月

二 二 二 二 二 二 二

日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日

海軍公報(部内限) 第二千八百七十三號 昭和十三年三月三十日

三二九

舞鶴 二十四日 二十五日
 佐保 二十七日 二十九日
 吳 三十日

○郵便物發送先

第一聯合航空隊司令部、木更津海軍航空隊(本隊)宛
 自今 千葉縣君津郡 木更津海軍航空隊
 鹿屋海軍航空隊(本隊)宛
 自今 鹿兒島縣肝屬郡 鹿屋海軍航空隊

特務艦室戸宛

四月 七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 其ノ後ハ追テ通知ス

特務艦鳴戸宛

四月 八日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保郵便局氣付
 同 十九日迄ニ 臺灣高雄郵便局氣付
 同 二十九日迄ニ 鹿兒島縣志布志郵便局氣付
 五月十八日迄ニ 高知縣宿毛郵便局氣付
 其ノ後ハ 横須賀

特務艦間宮宛

四月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保郵便局氣付

同 二十六日迄ニ 鹿兒島縣志布志
 五月 一日迄ニ 吳
 同 十八日迄ニ 高知縣宿毛
 其ノ後ハ 吳

特設運送船朝光丸宛

四月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 同 十六日迄ニ 吳
 同 二十五日迄ニ 横須賀
 五月 二日迄ニ 吳

○艦裝員事務所設置

驅逐艦霞艦裝員事務所ヲ舞鶴海軍工廠内ニ設置シ三月二十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

伊號第七十四潜水艦裝員事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設置シ三月二十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○正誤

三月二十六日令達欄官房第一四七八號中上段九行目(昭和十三年官房第一四七八號)「ハ」(昭和十三年官房第一四七九號)「」ノ誤

○艦船所在

▲印ハハカ
指定ヲ要セズ

○三月三十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄、▽長門▲、嚴島、神威、澤風、□雷

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

□大刀風、夕風、□松風、春風、旗風、沖風、□夏雲、山雲、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、□呂五八、□伊二三、伊二四

□掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】

多摩▲

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲

【大湊】

□神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、加古、最上、天龍、▽大井、夕顔、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、□浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、□呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、□伊五三、伊五四、□伊五六、伊五七、伊五八、□伊七二、伊七三、伊五五

□雉、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲

(崇雲)▲

呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

因ノ島

平戸、淺間

江田内

吾妻▲、八重山

白雲▲、吹雪▲、初雪、皐月

伊五二

(敷)

赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、▽名取、由良、足柄▲

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、□夕風、朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、陸月

海軍公報(部内限) 第二千八百七十三號 昭和十三年三月三十日

三三二

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、呂六六七、呂六五、
 伊伊六五、伊六六、伊六七、伊二、
 伊五九
 敷島▲、鶴見、佐多、知床、鳴戸、洲埼
 (伊七四)▲

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲

【寺島水道】陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、
 鬼怒、川内、迅鯨、鳥海、摩耶、
 熊野、三隈、鈴谷、神通

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、
 有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、
 朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、
 薄雲、叢雲、東雲、卯月

伊一、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、
 伊六三、伊六〇、伊六一、伊六二、
 伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
 問宮

【高雄】襟裳

【作業地】出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、
 白鷹、沖島、球磨、妙高、長良、
 能登呂、勝力、加賀、龍崎、蒼龍、
 春日、阿武隈、駒橋

栗、梅、蓮、響、電、曉、狹霧、漣

【航海中】

薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、
 夕月、望月、三日月、蓬、蓼、菱、島風、
 灘風、沙風、如月、彌生、疾風、追風、
 文月、水無月、長月、葦、榆、柿
 伊二、伊三、呂六三、呂六八
 千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鵲、鴨、鴻、
 隼
 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、室戸、早鞆、野島

大泊 (二十五日大湊發)

八雲、磐手 (二十八日大湊發—橫須賀へ)
 若竹 (二十八日橫須賀發—函館へ)

(辭令公報添)